

唾液の検査でむし歯に対するリスクチェック

唾液を検査することで

- ・ 唾液の抵抗力（緩衝能）
- ・ 口腔内のむし歯原因菌の数を知ることができます。

採取方法

チューイングペレット（刺激唾液採取用補助剤）をかみながら、滅菌スピッツ（または喀痰容器）に唾液を集めます。（3分間唾液を集めて下さい。）

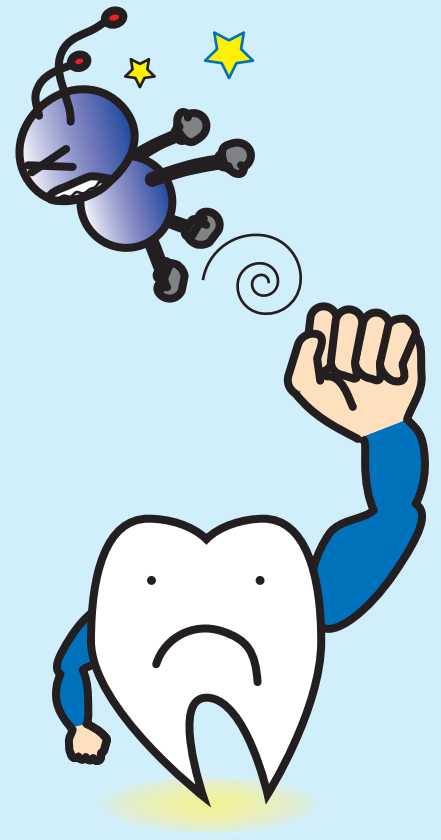
※ チューイングペレットは食べられませんので、必ず吐き出して下さい。

検査内容

- ・ 試験紙に唾液を滴下し、色の変化で緩衝能を見ます。
- ・ 寒天培地で唾液を48時間培養し、ミュータンス菌とラクトバチラス菌の数を判定します。

結果

- ・ 結果は、3～4日でご報告致します。
- ・ 緩衝能は（－）、（＋）、（2＋）の3段階で結果が出ます。
- ・ 細菌数は低リスクが 10^5 未満、高リスクが 10^5 以上で表示されます。



唾液中の細菌を培養して、目には見えないむし歯に対するリスクを科学的に判定することができます。